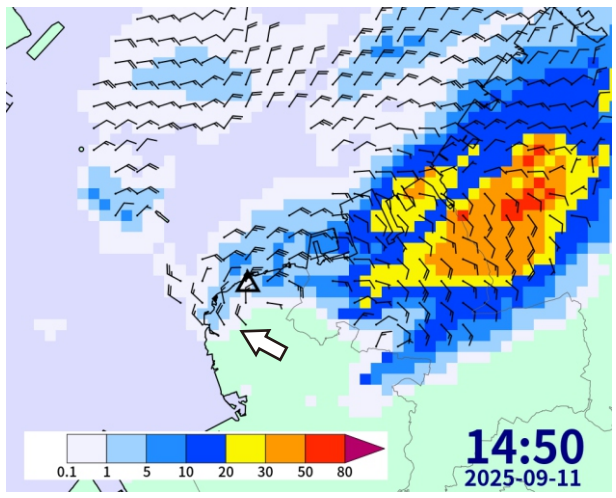
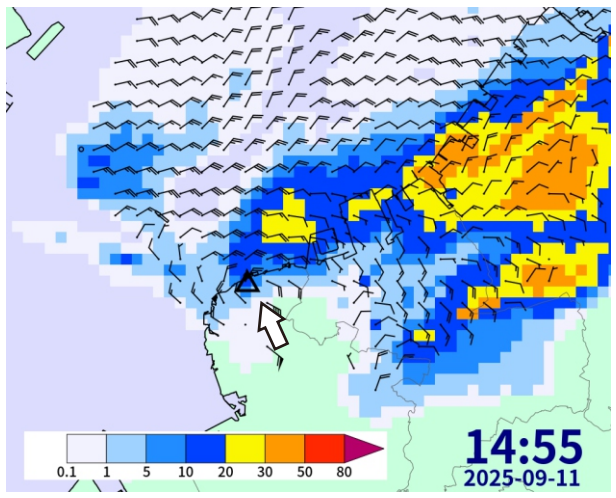
2025年9月11日に木更津市上空で観測された メソサイクロンの時間変化

防災科研 NIED

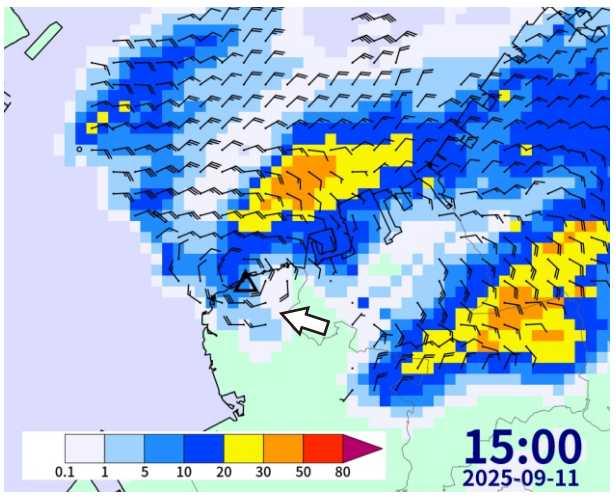
時間



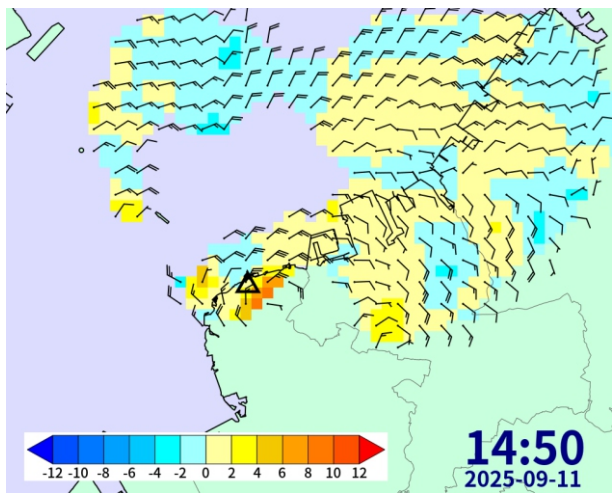
降雨強度（mm/hour）



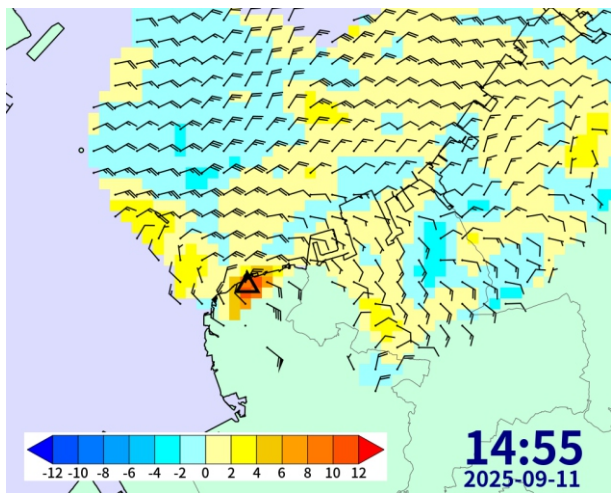
降雨強度（mm/hour）



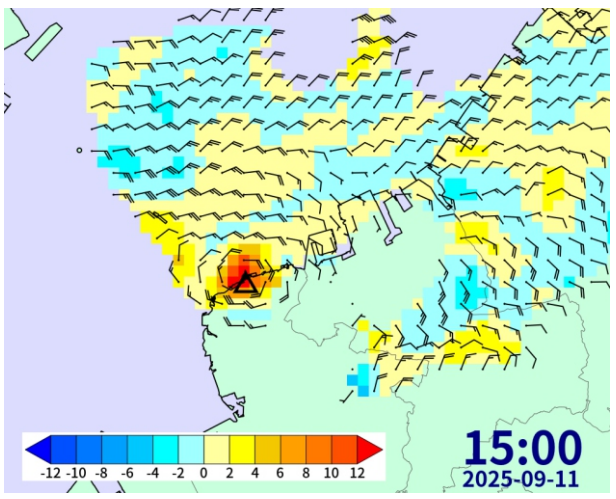
降雨強度（mm/hour）



鉛直渦度（10^{-3} /s）

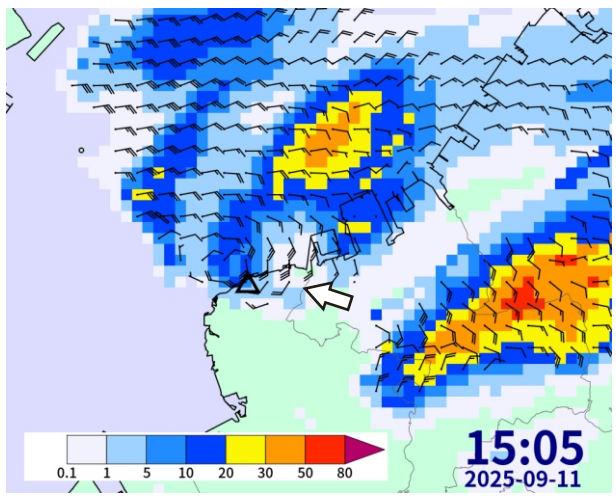


鉛直渦度（10^{-3} /s）

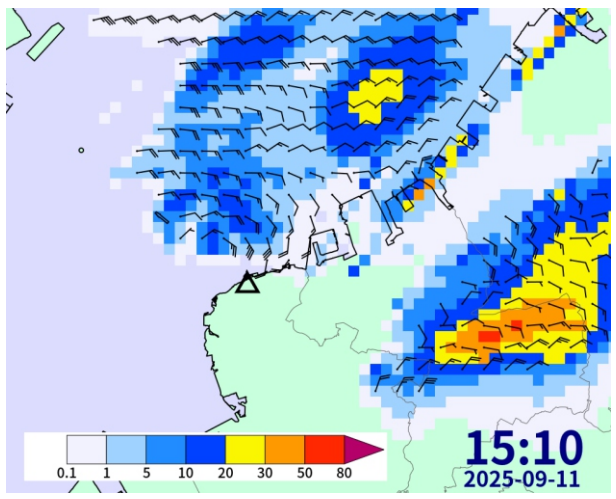


鉛直渦度（10^{-3} /s）

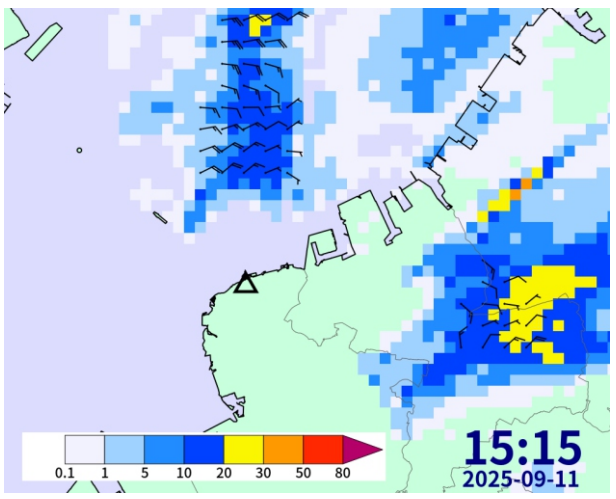
時間



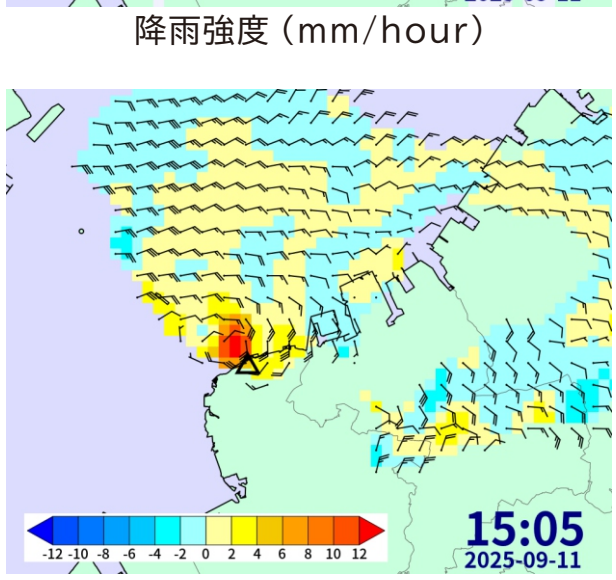
降雨強度（mm/hour）



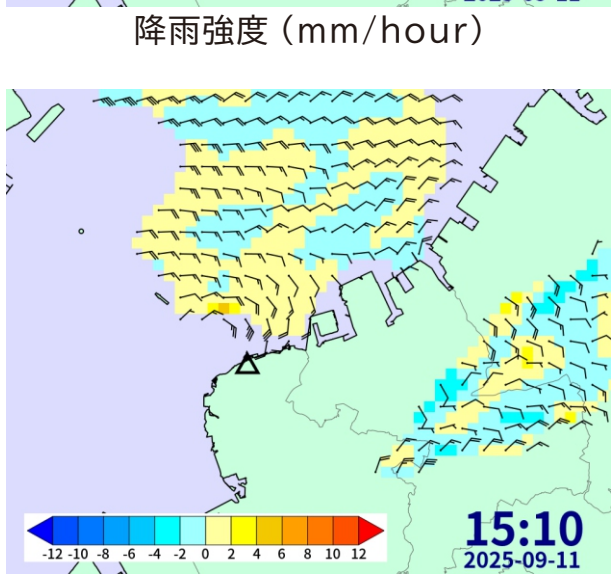
降雨強度（mm/hour）



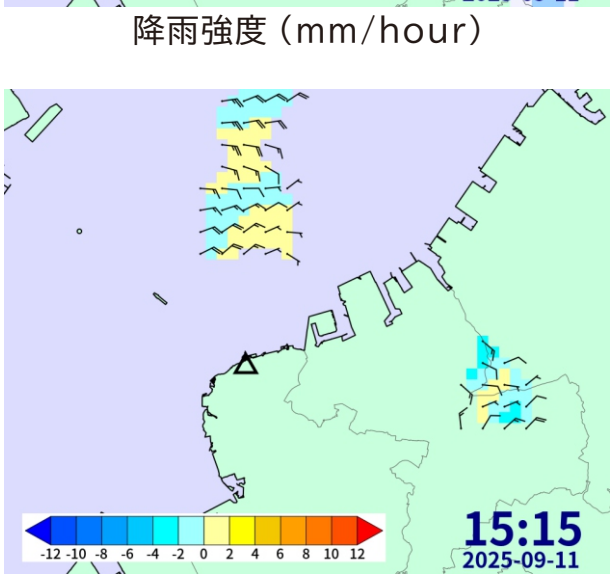
降雨強度（mm/hour）



鉛直渦度（10^{-3} /s）



鉛直渦度（10^{-3} /s）



鉛直渦度（10^{-3} /s）

防災科研のXバンドMPレーダー（木更津市に設置）及び国土交通省XRAINのXバンドMPレーダーを用いて解析したメソサイクロン周辺の降雨と風の分布．時刻は日本標準時．上段）カラースケールは降雨強度を，矢羽根はメソサイクロンの移動（西方向に2 m/s，北方向に3 m/s）に相対的な風向・風速の分布を示す．下段）カラースケールは鉛直渦度を示し，矢羽根は上段に同じ．△は竜巻が目撃された東京湾アクアライン木更津金田インターチェンジの位置を示す．

鉛直渦度の極大域（最大値 1.5×10^{-2} /s）で示されるメソサイクロンが木更津金田インターチェンジ付近を南東方向から北西方向に通過しており，メソサイクロン周辺ではフック状の降雨域（フックエコー，図中に白抜き矢印で示す）が形成されていた．

※本解析は初期解析結果であり，今後，新たなデータの追加等により解析結果が更新される場合があります．

（2025年9月11日版）